

三重小の生徒がイモ挿しと田植え体験、秋の収穫が楽しみ！

5月30日(木)三重小学校区まちづくり協議会の農業体験事業として、三重小学校1・2年生によるイモ挿し作業が行われました。3月に植えた種イモから蔓を採り、ご近所の畑に挿しました。保護者や地域の方々もたくさん応援に来てくださり、子どもたちは大ベテランに挿し方を習いながら、どんどん上達し、夢中で作業をしていました。作業中は子どもたちのかわいい歓声と笑顔が溢れ、とても温かく和やかな雰囲気になっていました。イモ挿し作業の数日前には、協議会メンバーが畝作りの作業をしてくださっていました。サツマイモ栽培に適した畑にするため、肥料を撒いて土づくりを行い、水捌けが良くなるよう溝を設け、畝を高くする作業を行いました。安納と紅あずまの2種のサツマイモを育てており、収穫後は三重の伝統食である「かんころもち」を作ります。大ベテランの指導により大豊作が期待されます。



また、6月10日(月)には同協議会の農業体験事業として、三重川そばの水田で三重小学校6年生による田植え作業が行われました。事前に、協議会メンバーなど地域の方々、水路の整備や草刈りなどの準備をしてくださり、子ども達は泥まみれになりながらも丁寧に苗を植えていました。初めての体験に恐る恐る作業をしていた子ども達でしたが、次第にコツをつかんで上手にできるようになりました。子ども達にはとても貴重な体験と楽しい思い出ができたことでしょう。秋の稲刈りが楽しみです。



おにぎり山をきれいにしよう 鳴見台小学校区コミュニティ協議会



鳴見台小学校区コミュニティ協議会が主催で、大岳(通称:おにぎり山)の登山道の環境整備に取り組もうとされています。1回目となる5月18日(土)には、協議会のメンバーを中心に12名が下見として山頂まで登りました。登山道には倒木などがあり、小型のチェーンソーで除去しながら、約40分かけて山頂に登りました。頂上までの道のりの中、所々に道標があったものの、老朽化により壊れているものもありました。以前は見晴らしの良い広場だった山頂付近も、現在では木が生い茂り、視界をさえぎっていました。協議会では今後登山道の整備に向けて協議を続けていきます。

広報 三重地域センター 令和6年7月号

長崎市役所 三重地域センター R6.618 No.39号
〒851-2204 長崎市三重町1098番地1
業務時間 平日8:45~17:30
電話 095-850-1111 / FAX 095-840-1001
E-mail: br_mie@city.nagasaki.lg.jp

三重地域センター管内人口 19,918人(男 9,659人 女 10,259人)8,601世帯(令和6年5月末現在)

市長と地元の方との意見交換 シンナガサキミーティング開催！

5月23日(木)市長と三重小学校区の方々、「シンナガサキミーティング」で意見交換を行いました。参加者の皆様は三重の未来を真剣に考え、新たな道路整備の必要や、三重小学校プールの故障、学校の先生と地域のつながり、自治会未加入世帯、子どもの遊び場の変化などたくさんのご意見がでました。市長からは、「いろいろな課題もありますが、三重にはいろんな魅力、ポテンシャルがあるので、それをもっとうまく活用していければ、そういう課題も解決していけるのではないかと、希望も見える意見交換となりました」とコメントがあり、参加者の方から「三重や長崎に誇りを持ってもらえるような街づくりを一緒にしていけたらと思った」などの感想をいただきました。今回いただいたご意見は、主催した長崎市企画政策部広報広聴課から担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていくこととなっています。



十八親和銀行の皆さんが広浦海岸清掃

三重地域の海岸では、様々な団体や個人の方々方が清掃活動をされています。6月8日(土)は、「世界海洋デー」に合わせ、十八親和銀行の行員やご家族など約50名の方々が、檜山町の広浦海岸で漂着ごみを拾い集めました。サステナビリティ経営に向けた様々な取組みの一環として実施しました。活動の前に、主に外海町近隣の海岸清掃活動を企画・実施し地元再生事業者と連携しながらごみの再生資源化を推進しているボランティア団体「長崎Coasta1 Debris Guard」代表の熊川 泰秀さんが、実験を交えた講話、海洋プラスチックごみの深刻さと環境保全の重要性について説明され、参加した皆さんは熱心に聴講していました。

蒸し暑い中、岩場が広がる海岸での作業はとても大変なものです。子ども達にとっても貴重な学びの機会になったことと思います。参加された皆様、大変お疲れさまでした。



大復活！三重地区ペーロン大会！

コロナ禍により休止していたペーロン大会が5年ぶりに復活しました。6月2日（日）「令和6年度（第52回）三重地区ペーロン大会」が盛大に開催されました。会場はペーロンを愛する地域の方々で溢れ、大変な賑わいとなりました。各自治会対抗レースでは、新人からベテランまで混ざって乗船し、久々の競漕を楽しんでいました。三重小学校区青少年育成協議会による体験ペーロンには、多くの子どもたちが参加し、地域の大ベテランの指導を受けながら、港内でゆっくりと舟を進めていました。選手や観客の皆さんの笑顔を見せ、世代を超えてペーロンが愛されていることを強く感じました。コロナ禍にあっては、大会の開催について三重地区ペーロン協会（赤木幸仁会長）をはじめ、地域の様々な団体や個人の方々は何度も議論を重ねてきました。今回の大会は、伝統文化を継承したい、地域を盛り上げたいという熱意を持った若者達をはじめ、育成・支援に取り組む地域の方々のおさまたまの思いが詰まったものであり、三重のペーロン文化のさらなる発展につながることを期待されます。7月に開催予定の「長崎ペーロン選手権大会」には三重代表として2チームが出場します。選手の中には今年初めて参加するという新人の姿もあり、先輩方の激励のもと日々の練習を重ねています。毎日、夜遅くまで聞こえる掛け声やドラの音からも選手達の気合いが伝わってきます。優勝を目指して選手及び関係者の皆様の健闘を祈っています。



参加チーム（自治会対抗）京泊、崎上、馬場、角上、角、西檜山
 （オープンレース）三重（A）、三重（B）
 結果（自治会対抗）1位：馬場、2位：崎上、3位：角上
 （オープンレース）1位：三重（A）、2位：三重（B）



子どもから高齢者までパタンク大会

6月2日（日）、光風台第2自治会主催のパタンク大会が開催されました。

天候にも恵まれ、子どもから高齢者までスタッフを含めて50名ほどが参加、皆さん楽しい1日を過ごしました。参加者からは「今回初めてパタンクをしたが、気軽にできて楽しかった。次回も参加したい。」との意見が出ました。光風台第2自治会松山会長が「来年も6月第1日曜日に開催する予定です。ぜひ参加してください。」との一言で大会を締めくくりました。



老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会

グラウンドも草刈りできれいに

5月21日（火）「第41回三重地区老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会」が開催されました。

参加された選手の皆様は、とても真剣な表情でボールを打ち、はつらつと日頃の練習の成果を発揮していました。熟練の技を持ったエキスパートばかりで、圧倒されました。会場のあちこちで笑顔が溢れ、温かい雰囲気の中で楽しそうに親交を深めていました。

皆様のおもてな気な様子を拝見し、生涯現役の選手としてこれからも益々活躍されることが期待されます。開催に先立ち、5月16日（木）同会西部地区の35名の方々が、会場である三重みなと公園グラウンドの草刈り作業をして下さりました。生い茂っていた雑草がきれいに刈り取られ、とてもきれいになり、さらに利用しやすくなりました。

ご参加された皆様、大変お疲れさまでした。

